



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月31日
上場取引所 東

上場会社名 NSユニテッド海運株式会社
 コード番号 9110 URL http://www.nsuship.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷水 一雄
 問合せ先責任者 (役職名) 経理グループリーダー (氏名) 小林 勝利 TEL 03-6895-6251
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日
 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	36,244	△3.2	1,520	△20.0	960	△47.8	1,171	△2.8
2019年3月期第1四半期	37,454	9.1	1,900	△2.6	1,840	17.7	1,204	△39.1

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △604百万円 (-%) 2019年3月期第1四半期 3,024百万円 (52.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	49.67	-
2019年3月期第1四半期	51.10	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	223,817	86,902	38.8
2019年3月期	223,528	89,038	39.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 86,902百万円 2019年3月期 89,038百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	50.00	-	65.00	115.00
2020年3月期	-	-	-	-	-
2020年3月期(予想)	-	45.00	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

(注) 現時点では、2020年3月期の期末配当は未定です。

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	70,000	△8.0	2,600	△45.4	1,700	△61.9	3,600	△18.0	152.76
通期	151,000	△0.0	8,100	△9.1	6,400	△17.8	7,800	△16.5	330.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、 除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	23,970,679株	2019年3月期	23,970,679株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	403,761株	2019年3月期	403,730株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	23,566,933株	2019年3月期1Q	23,567,284株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。なお、本日付で「配当予想の修正に関するお知らせ」を別途開示しておりますので併せてご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、2019年7月31日（水）に当社ウェブサイトに掲載致します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日までの3ヶ月間）の外航海運事業は、ドライバルクにつきましては、前四半期からの回復に遅れが見られましたが、その後持ち直し、堅調に推移しました。

ケープ型撒積船（18万重量トン型）につきましては、オーストラリアの鉄鉱石主要積み出し港に於けるサイクロンの影響や、本年1－3月期にブラジルの鉱山で発生したダム決壊事故の影響が長引いたことにより平均用船料率は期首に日額3千ドル台の大底をつけましたが、同鉱山稼働再開の報道並びに大西洋に於ける堅調な輸送需要が市況を刺激し大きく反転、6月末には日額1万9千ドルを突破しました。パナマックス型以下の中小型撒積船（2～8万重量トン型）につきましては、南米東岸積み穀物の安定的な輸送需要が市況を牽引、この水域に向けて東南アジアからも船舶が集中したことが太平洋水域の船腹需給を引き締め、特にパナマックス型撒積船の市況にプラスに作用しました。一方、タンカーにつきましては、VLGC（大型LPG運搬船）市況が2月に反転の後、ヒューストンでの火災事故により船腹需給が引き締まり、また、中国が輸入を停止した分が東南アジアへ転送され輸送トンマイルが伸びたこと等から、期を通じて堅調な市況が続きました。

このような事業環境の下、外航海運事業の業績は、市況回復に時間を要したことから、前年同期比で減収減益となりました。

内航海運事業は、ドライバルクにつきましては、鉄鋼原料輸送のうち、石灰石の輸送量が専用船の順調な稼働により前年同期比で増加し、セメント関連貨物も前年同期並みの荷動きを維持しました。一方、その他副原料は低調に推移、鋼材は国内需要に停滞感があり、大型連休の影響も重なったことでドライバルク全体では輸送量が伸び悩みました。タンカーにつきましては、LNG輸送は、省エネ化の進展により需要が減少するなか効率運航に努め、輸送量は前年同期を上回りました。LPG輸送は、石油化学品輸送が好調な国内需要を受けたものの、民生用は冬期需要期と一部輸送契約の終了により、また工業用は内需低迷等の影響を受けたことにより、全体的な輸送量は前年同期を下回りました。

このような事業環境下、内航海運事業の業績は前年同期比で増収減益となりました。

燃料油価格につきましては、当第1四半期連結累計期間の平均消費価格がトン当たり約439ドル（内外地平均C重油）となり、前年同期比では約28ドル上昇しました。また、対米ドル円相場は期中平均で111円33銭と、期初の見込み110円と比べ1円33銭の円安、前年同期比では3円33銭の円安となりましたが、期末にかけて107円台まで円高が進みました。

このような事業環境下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は362億44百万円（前年同期比3.2%減）、営業利益は15億20百万円（前年同期は19億円の営業利益）、経常利益は9億60百万円（前年同期は18億40百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億71百万円（前年同期は12億4百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

なお、当社グループの事業構成は海上輸送業がほぼ全体を占めており、連結売上高に占める外航海運事業の割合は8割強、内航海運事業の割合は2割弱となっています。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は2,238億17百万円となり、前連結会計年度末比2億89百万円の増加となりました。このうち流動資産は主として現金及び預金やデリバティブ債権の減少により、47億7百万円減少しました。固定資産は船舶の取得等により、49億97百万円増加しました。

負債合計は前連結会計年度末に比べ、24億25百万円増加して1,369億15百万円となりました。流動負債は短期借入金等の増加等により9億97百万円増加しました。固定負債は長期借入金の増加等により、14億28百万円増加しました。

純資産合計は繰延ヘッジ損益の減少等により、前連結会計年度末に比べ21億36百万円減少し、869億2百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期連結業績予想

(単位：百万円)

	第2四半期連結累計期間				通期			
	期初予想	今回予想	増減額	増減率	期初予想	今回予想	増減額	増減率
売上高	73,000	70,000	△3,000	△4.1%	154,000	151,000	△3,000	△1.9%
営業利益	2,200	2,600	400	18.2%	7,700	8,100	400	5.2%
経常利益	1,500	1,700	200	13.3%	6,200	6,400	200	3.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,300	3,600	300	9.1%	7,500	7,800	300	4.0%

※期初予想（2019年4月26日）及び今回予想における対米ドル円換算率及び燃料油価格の前提は以下の通りです。

	期初予想	今回予想	
		(第2四半期前提)	(第3・4四半期前提)
対米ドル円換算率	US\$=110円	US\$=108円	US\$=108円
燃料油価格	US\$435/MT	US\$435/MT	US\$435/MT

第2四半期以降、ドライバルクを中心とする外航海運市況につきましては、大型船を中心に前年同期を上回る堅調な推移を見せる一方で、来年より開始されるSOx規制の市況への影響や、世界的な適合油の需給及び価格等の不確定要素もあり、事業環境の見通しは不透明な状況です。

このような見通しの下、当第1四半期連結累計期間の業績を踏まえ、第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高700億円、営業利益26億円、経常利益17億円、親会社株主に帰属する四半期純利益36億円を予想しております。また、通期の連結業績につきましては、売上高1,510億円、営業利益81億円、経常利益64億円、親会社株主に帰属する当期純利益78億円を予想しております。

なお、第2四半期以降の前提条件は、対米ドル円換算率を第2四半期以降は108円とし、燃料油価格はトン当たり435ドルと期首前提を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,308	19,210
受取手形及び営業未収金	15,674	15,797
有価証券	4,500	5,000
たな卸資産	7,143	6,450
前払費用	2,851	3,137
デリバティブ債権	3,658	1,776
その他流動資産	1,147	1,204
貸倒引当金	△20	△20
流動資産合計	57,261	52,554
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	136,112	141,250
建物（純額）	445	442
土地	703	703
建設仮勘定	16,515	16,258
その他有形固定資産（純額）	75	71
有形固定資産合計	153,849	158,724
無形固定資産	2,594	2,574
投資その他の資産		
投資有価証券	3,908	3,722
長期貸付金	31	30
繰延税金資産	3,816	4,123
退職給付に係る資産	1,501	1,530
その他長期資産	569	563
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	9,823	9,965
固定資産合計	166,267	171,263
資産合計	223,528	223,817

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	6,764	6,472
短期借入金	16,464	18,229
未払金	138	249
未払費用	295	392
未払法人税等	601	159
前受金	1,578	1,013
賞与引当金	439	107
役員賞与引当金	69	5
デリバティブ債務	3,672	4,041
その他流動負債	2,120	2,470
流動負債合計	32,140	33,137
固定負債		
長期借入金	97,337	99,080
繰延税金負債	1,823	1,191
特別修繕引当金	3,047	3,354
退職給付に係る負債	140	151
その他固定負債	3	3
固定負債合計	102,350	103,778
負債合計	134,490	136,915
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,300	10,300
資本剰余金	17,181	17,181
利益剰余金	62,394	62,033
自己株式	△994	△994
株主資本合計	88,881	88,519
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△17	△190
繰延ヘッジ損益	△9	△1,611
為替換算調整勘定	△124	△107
退職給付に係る調整累計額	307	291
その他の包括利益累計額合計	157	△1,617
純資産合計	89,038	86,902
負債純資産合計	223,528	223,817

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高		
海運業収益及びその他の営業収益	37,454	36,244
売上原価		
海運業費用及びその他の営業費用	34,118	33,286
売上総利益	3,335	2,959
一般管理費	1,435	1,439
営業利益	1,900	1,520
営業外収益		
受取利息	15	18
受取配当金	69	71
持分法による投資利益	5	8
為替差益	275	—
その他営業外収益	22	20
営業外収益合計	387	117
営業外費用		
支払利息	438	364
為替差損	—	300
その他営業外費用	10	13
営業外費用合計	448	677
経常利益	1,840	960
特別利益		
固定資産売却益	44	249
特別利益合計	44	249
特別損失		
用船解約金	495	50
特別損失合計	495	50
税金等調整前四半期純利益	1,389	1,159
法人税等	183	△12
四半期純利益	1,206	1,171
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,204	1,171

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,206	1,171
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△82	△173
繰延ヘッジ損益	2,072	△1,602
為替換算調整勘定	△113	11
退職給付に係る調整額	△13	△17
持分法適用会社に対する持分相当額	△46	6
その他の包括利益合計	1,818	△1,774
四半期包括利益	3,024	△604
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,022	△604
非支配株主に係る四半期包括利益	2	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運事業	内航海運事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	31,374	5,950	37,324	129	37,454	—	37,454
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	3	3	73	76	△76	—
計	31,374	5,953	37,327	202	37,530	△76	37,454
セグメント利益 又は損失(△)	1,447	460	1,907	△10	1,897	3	1,900

(注) 1. 「その他」の区分には、陸運業及び情報サービス業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額3百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運事業	内航海運事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	30,132	6,112	36,244	—	36,244	—	36,244
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	2	2	83	85	△85	—
計	30,132	6,115	36,247	83	36,329	△85	36,244
セグメント利益 又は損失(△)	1,353	171	1,524	△5	1,519	0	1,520

(注) 1. 「その他」の区分には、情報サービス業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額0百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。